

情報満載のかわら版を発行し御用聞きサービスを実施

## 大洲 肱北 商業 協同 組合

機関名	大洲肱北商業協同組合		
所在地	愛媛県大洲市中村571		
電話番号	0893-23-1166		
地域概要	(1)管内人口	39千人	(2)管内商店街数
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数	2商店街	(2)会員数
	(3)空店舗率	-%	(4)大型店空き店舗数
商店街の種類	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

### 【事業名と実施年度】

平成15年度 活性化対策事業

- ・御用聞き宅配サービス事業
- ・小冊子（かわら版）の発行

総事業費 2,404千円

### 【事業実施内容】

#### 1. 背景

大洲市肱北地区は、中心市街地の中でも特に危機意識の強いブロックであり、その分、商業者の自立意識も高いエリアである。平成14年7月に任意の6商店会で大洲肱北商業協同組合を設立し、宅配事業による高齢化への対応、販売活動の安定化に取り組んでいる。

平成15年度は電話・FAXによる御用聞き宅配サービス事業に加え、同組合のホームページを用いた受注宅配の稼働実験を実施することとなった。

高齢化対応や山間過疎地への商業活動の展開を図るために、実証実験を行い、客待ち型商業活動から積極的商業活動へ脱却を図ろうとするものである。

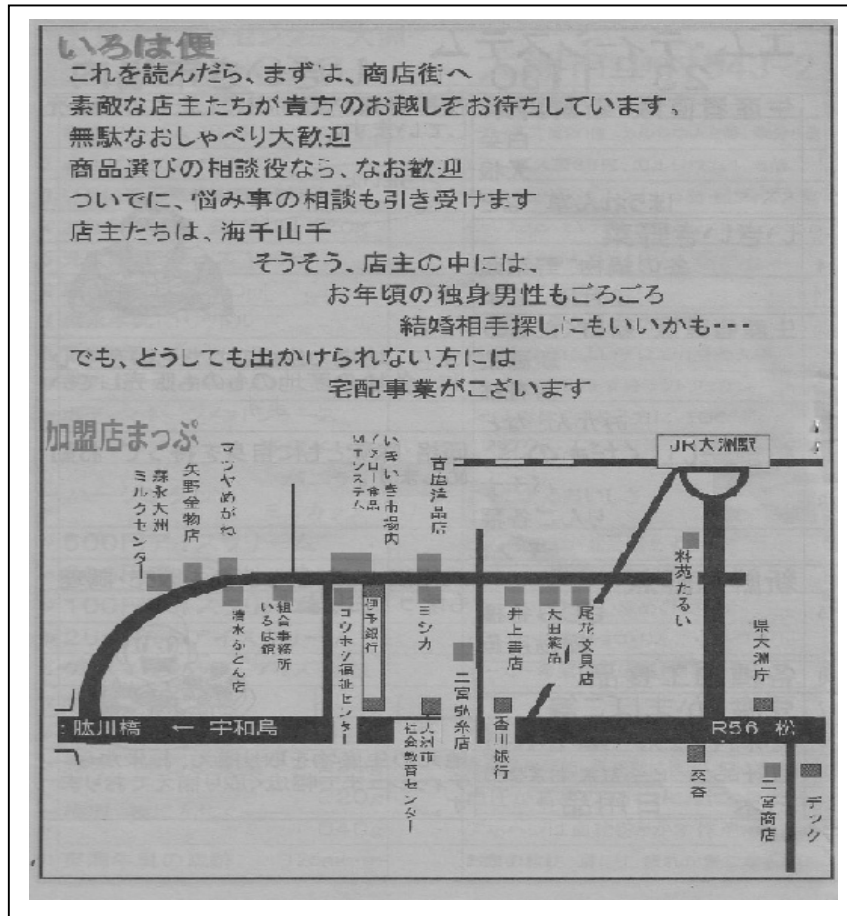


大洲市の位置図  
(大洲市商工観光課のHPより)

#### 2. 事業内容

##### (1) かわら版「いろは通信」の発行

参加個店の商品や店の特徴をPRするための、かわら版を年4回発行し、周辺世帯へ配布した。

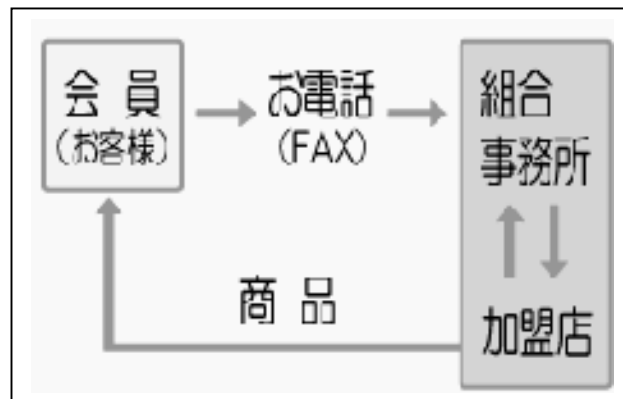


「いろは通信」

(2) 御用聞き・宅配事業

電話・F ax で組合事務局にて受注、配達を行う。また、ホームページ、メールを活用した情報発信、受注の実証実験を行った。

事業実施当初は 17 店舗だった参加組合員を、30 店舗にまで増やすよう取り組んだ。



「いろは便の仕組み図」

## 【 効 果 】

### 1. 来街者の行動

店舗によってバラツキはあるが、新規顧客の獲得が効果としてあげられる。また、注文時に店舗名が既に決定しており、スムーズに買い物をされている姿が良く見受けられる。新規顧客が常連顧客となってきた。

### 2. 小冊子の購読率アップ

定期的に発行した小冊子（かわら版）に関しては、思ったほどの効果は無く、当初の取扱商品と価格中心という紙面構成を変更した。各店舗の取扱商品の紹介、一口メモ、健康情報、特集を組んで掲載するようにしたことで購読率がアップした。そして店舗の取扱商品を知ったことで、実際に店舗に来店されるお客様が見受けられるようになった。

## 【 課 題 ・ 反 省 点 】

### 1. 事業費の確保

不景気による組合費の減額と組合員の脱会などが重なり、大洲肱北商業協同組合の運営の見直しを迫られている。宅配事業の人件費、かわら版の作成に際し導入した印刷機材のリース代等のコスト負担が大きい。組合加入が見込めない現状では、御用聞き宅配事業、かわら版の発行も停止・休刊という窮地に立たされている。

## 【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

出費と収入のバランスを考慮に入れて組合費を設定する。途中で脱会された場合の対処を考慮に入れておくこと。財政の安定が何よりも大切である。そのためには、しっかりと計画を立て、助成金に頼らず自立した活動のあり方を立案することが、何よりも大切である。

## 【 関 連 U R L 】

大洲肱北商業協同組合「大洲いろは便」 <http://town.ehime-iinet.or.jp/ozu/>